

五波のりもろもろ共た人白

教育部

(一) 教員

(五十音順)

「邑に不学の戸なく家に不学の人なからしめんことを期す」という教育宣言が太政官から示されたのは、明治五年八月である。

これより先明治二年十二月若年三島通庸が地頭としてこの地に来り、三股郷建設の大事業を起し、教育をもって開拓の大本とすることを唱導した。山王原を統治の策源地と定め、勝岡、梶山郷をはじめ近隣の地の郷士の移住をはかり、直に学校を設け、教師を鹿兒島より招き子弟の教育を託した。三股文教の基はここに始まると言われる。やがて国民皆教育の方針が明示されるや、各部落に学校が創設され、村勢進展の源泉を豊かにする近代的な三股教育のあけぼのはおとずれた。

かえりみると世情激変ただならぬ一世紀の間、いつの時代に於ても住民は常に相たずさえ、郷土先人の教訓である忍耐・創造・協和の開拓精神に生き、また各家庭は競って、子女の教育に情熱を傾けるを誇りとしてきたのである。幾多の人材名士を輩出していることを思えば、それを物語っており、同時に今日飛躍的な発展を遂げている町勢の原動力はまったく教育の恩恵によるものと申しても過言ではあるまい。

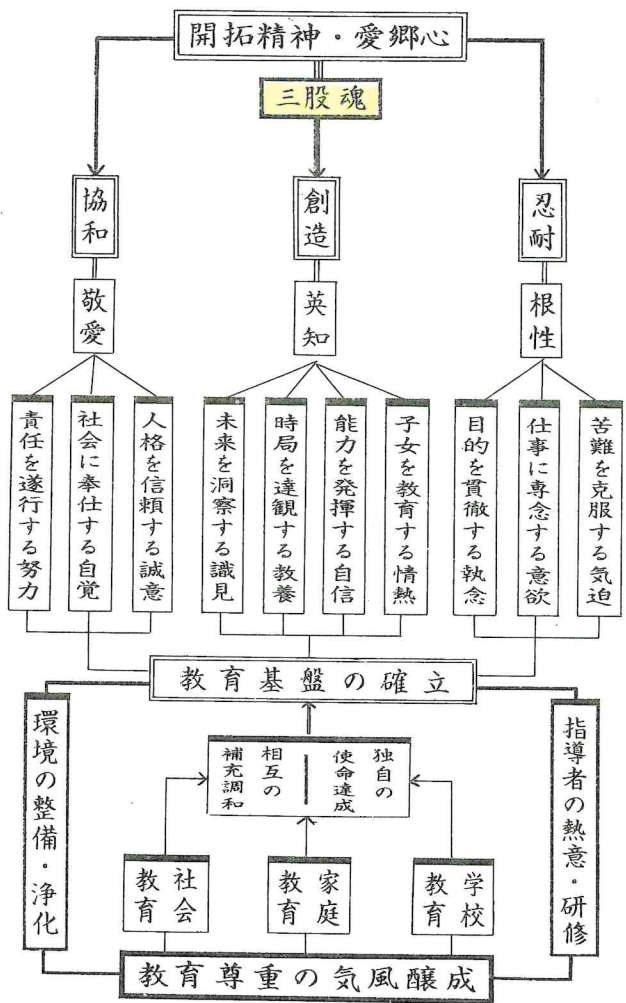
次に掲げる人々は、若くして教育界に身を投じ、生涯をかけて育英の道に専念されると共に、教育尊重の気風醸成に寄与せられ、三股文教の基盤につちかわれた方々である。

続いて、明治大正時代子女を中等学校以上に進学せしめ、郷土青少年の行く手にあかりを点せられた家庭を集録したのであるが、世局を達観し、子女の将来のために、学歴経済等の困難にもめげることなく、よくも総ての力を傾倒されたものと深い感銘をうけるのである。いずれも未永く、郷土を照らす光源となり、後世に語り継がれることであろう。

別表は、郷土開発の支えである先人の教訓(町民性)を現代に生かし、新しき世代への道標指針たらしめることを期待するものである。

風雪百年期待される町民性

三股町先達の教訓
文教三股の再発見



米の倉より頭の倉

三股っ兜 常に夢あり粘りあり

第五次 三股町総合計画 後期基本計画



花と緑と水のまち みまた



平成28年3月

三股町

2-2 学校教育の充実

2-2-1 学校教育の充実

【現況と課題】

本町の公立学校は、小学校6校、中学校1校があります。

本町では、小規模特認校制度の拡大を図り、規模の小さな学校で学びたい、学ばせたいという希望者に対しては、学校区域外への就学を認めています。

本町では、平成22年に制定した三股町児童生徒憲章の精神を踏襲し、小中一貫教育として「あいさつの徹底」「無言清掃の徹底」「郷土学習の充実」に取り組んでいます。

また、平成26年7月に「三股町教育の日」を制定しました。「三股町教育の日」とは、「文教の町」三股町の将来を担う、心豊かでたくましく生きる力を持った「みまたん子」を学校・家庭・地域が一体となって町民全体で育むことを目的としています。

さらに、町内の幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を図り、発達段階に応じ、15年間を見通した一貫性のある教育を推進していきます。

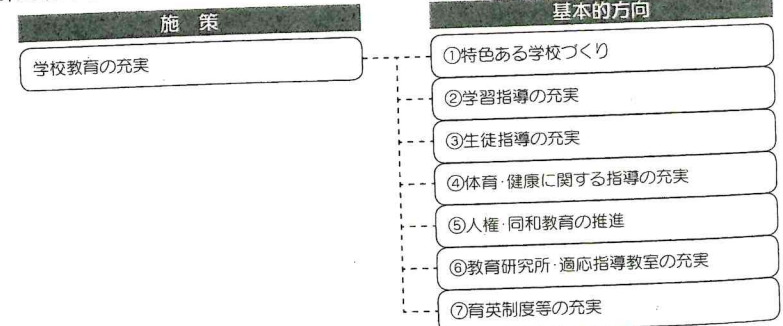
今後も、各学校が特色ある教育を展開するとともに、児童生徒の豊かな人間性と個性を伸ばし、自ら学び、自ら考える力を培っていけるよう教育内容の更なる充実を図っていきます。

【施策の視点】

知・徳・体の調和のとれた、郷土を愛する、人間性豊かな子どもを育みます。

「未来を創る 心豊かで活気あふれる 文教三股の人づくり」

【施策の体系】



1964年を迎えて

昨年に倍する

飛躍を

町長 大河内利雄

新年おめでとうございます。希望の新春を迎えるにあたり町民の皆さん方の御清福と御繁栄を心からお祈りいたします。

近代的田園都市建設をめぐりまして躍進を続け、建設の郷土、三股町はどの如き大河の流れにも似て果てしなく力強い前進の途上にあります。私は信を得てこの重職に就任してから町民の皆さん方の御支援を唯一の力として「躍進する三股町」をスロ



「ガン」に「任まい町」の建設に懸命の努力をいたして即ち昨年度におきましては本町発展の動脈となるべき三股道路の舗装延長、牧場前より上木に至る道路の改良工事の完成、又御城市との境界附近を横断する橋木、今市線の建設工事、今春々建設途上にある地区の改良、更に二級国道脇地区の拡充整備、或いは又御市街地切りの立体化工事の着手、又岸下井並きの完成、俣矢谷橋、出水谷橋、藤元橋の永久化、その他野橋、長原橋のかけ替え等、飛躍の度合いは愈々加速度を加えつつあります。

住宅については更に三六戸を建設してその需要に応え現在すでに町村としてはまねに見る二二二戸の多きを数えております。

これは道路網の整備と共に着々近代的田園都市の形態を整えつつあります。又教育行政については三股小学校の一〇教室鉄筋化工事を今年三月完成をめざしております。

社会福祉事業といたしましては老後を楽しく豊かにくらしたいと強く老人クラブの結成を推進し、又県下にその比を見ないとしよりの楽園、老人ホームを昨

年四月開設、その他へ地保育所など設立を見ております。

更にこれ等の諸施設と併行して農業の近代化を強くおし進め、総事業費一億六千万の農業構造改善事業の計画を立ててこれによって農業基盤の整備と酪農、みかんの栽培物の振興を図り他方南九州防犯警察署を受け入れて補完作物の振興に力をそいでおります。

かねて運動を続けておりました低開墾工業地帯指定も去る一〇月決定されましたが今年九月株式会社社長の進出が決定しております。

又小倉セーター会社が小倉工業会社として新築足いたすことなっております。

かようにして町民の働く場所を誘致していわゆる農工商併進の実をあげたい所存であります。

このような施策の実現を見るようにいたつたのは町職員の御理解と御協賛と町民の皆さん方の絶大な御支援の賜でありまして厚く御礼を申し上げる次第であります。

私は一九六四年を更に本町躍進の年として町政全般にわたって謙虚と誠実をモットーとして内容充実と全力を傾倒する決意を新たにしたしております。

明けゆく昭和三十九年度は我



石寺原 記念碑除幕式 盛大に挙行

本町は今農業構造改善事業として、餅原区画整理と小鷹原区画整理の両事業を突貫工事中であります。それ先がけて約二五町歩、総事業費九百万円をもって坂山の石寺原区画整理事業を三月六日完成しております。

その記念除幕式が去る二月一日、地元受益者、町長その他関係者多数出席のもとに盛大に行なわれました。この事業の遂行にあたっては受益者、当局一体

となつて共に熱意と努力をもつてあらゆる難関を解決し、そしてめでたく完成を見たわけであり、こゝに晴れの記念除幕式を迎えて当時の苦勞をあり／＼としのびながら「よくぞしたやたり」と喜びの感慨ひとしおであります。

今後これを基盤として愈々農業の近代化にして生産性の向上に邁進いたしましたのであります。

に、自主的に地域の課題を発見、解決する方を講ずる機会をとらえることが困難であると思われまふ。既に御承知のとおり町内には数部落が広地域の協同連絡に踏み切り、着々と実質を挙げつつある地区もありまふ。新しい年を迎え、一歩前進して少くとも小学校単位に地区公民館を推進し、それぞれ地域の特殊性に即応し、行政を教育のうけとめ、その浸透をはかり、また一地域住民の要望を反映する等、計画的、継続的にあらゆる面の学習をして止まないものであります。

今日人づくり、町づくりの論議が盛となり、教育によせられる世の期待はますます大きいのであります。科学の発展、経済の発展についても教育の果たす役割はきわめて高く評価されているのであります。教育の使命重かつ大であることをご感ずること今日の如きはあります。

新春を迎えるに当り、文教三股の源流を回想し、本町教育の発展向上に最善の努力をいたす決意を新たにすべく、この上とも町民皆様の格段の御協力と御理解を賜りますようお願いして新年のごあいさつとします。

年頭に当って

議会議長 馬渡平男



明けましておめでとうございます。昭和三十九年の年頭を迎え、こゝに町議会を代表いたし謹んで町民のみな様の御幸福を御祈り申し上げます。

昨春の地方統一選挙において私達は皆様代表として選ばれ、町政に参与の榮に浴したことは感激尙新たるものがあります。その責務の重大さは計り知れないものがありますが、旧年中は公私に亘りより御指導御鞭撻を賜りまして、大過なく新たな年を迎えられたことを心から厚く御礼申し上げます。

昨年には春先における異常寒波の襲来で春作に大被害を被り心配したものであります。其の後は好天に恵まれ、空前ともゆうべき秋の大豊作を見ましたことは、日頃の皆さんの御努力御精進の賜であり誠に御同慶に堪えません。

町政におきましてもかつて無い程の躍進を遂げ、町民のみな様の福祉増進のための業績を残し、躍進中でありまふことは、こゝに挙げざるまでもなく皆様周知の通りであります。

今や我が三股町は郡内吾宮隣県の三股として、あらゆる方面でトップレベルにありまふことは皆さん共々に心強い次第であります。昨年から実施の段階にありまふ農業構造改善の大事業は関係者の御理解と御協力をよりまして着々推進をみておりますが、其の外教育文化、生活、生産と各方面に亘り近代化が要請され、改革が迫られておまふ。世を挙げて一大転換期にあると申せるのであります。

この時に当り我が三股町は、町民が真に一体となつてその力を結集し、一致団結この難局に処して行くべきことを痛感いたすのであります。

迎えました昭和三十九年は、昨年、昨年の跳躍の年でありまふ。昨年は昔年の年でありまふ。皆様の御健闘を切に期待いたします。

民主政治の根本は、住民による住民の意志に基づく政

治であります。私達は常に町民の皆様の意を体し、更に町内の各種団体の相互の御協力を図り、住みよい郷土・明るい三股の建設にこの上とも御努力を重ねる覚悟でございます。

一九六四年、新春のお喜びを申し上げますとともに、皆様の御多幸と御健康とを心からお祈りいたします。

昨年の三股町教育界の歩いた足跡をふり返つてみますと、町教育の三大基本方針である、教育施策の充実向上、心身共に健康で情緒豊かな社会人の育成、教育者の積極的な教育活動の推進を基盤として、より良いもの、より高いもの、より進んだものを望んで参つたのであります。皆様の地方地域社会の教育に対する熱情



新年のあいさつ

教育長 谷口 衛

と御協力により年々その成果をあげ、内外ともに視聴を集められる域に達しつつあります。これは御同慶に堪えないところであります。ここに衷心から深甚の敬意と感謝の意を表する次第であります。年改まって、文教三股の源流を想起し、また、明治の初め地頭三島通庸公による現理の住む山野の三股開拓に始動が始まり代々の先達に承継されてきた教育が新しい社会の形成のためにいかに貢献するかの深遠なる洞察をめぐり、教育界の発展向上に全力を傾注した輝かしい教育歴史を展開されて参つたのであります。今日、町を挙げて教育熱が高まりつつある根柢には、この開拓精神と愛郷心の筋金が入つていような気がしてならないので

あります。自主性、協調性など積極的な不撓不屈の町民性がそれであり、「活気溢れ躍進の一途をたどつていく現状」の底流をなしていると思われまふ。教育は、県の指導方針を基調とすることとは勿論でありまふが、更にこの開拓精神と愛郷心を生かし、先達の樹立した人づくりの偉業を伝承し、発展せねばならぬ責任を強く感ずるのであります。

学校教育面におきましては施設、設備の整備、学校経営の充実、教師の資質向上等多くの問題を抱えておりますが、特に今日の教育実践上大きな要請であるところの、ひとりひとりの児童、生徒に基礎的、基本的な知識、学力及び豊かな人間性をしっかりと身につけさせることが重要なことであると考えまふ。このことは教師の不断の研修活動、地域社会の教育に対する熱意とが相俟つて実現するものと信じております。学校も家庭も一心になつて、ひとりひとりの子どもを見守つていく年であられしと祈るものであります。

次に社会教育の面の課題は、地区公民館への促進ではないかと考えまふ。従来部落単位に事が運ばれ教育活動においても場当たり式、断片的になり勝ちで、ともすると視野が狭いため

立春 (2月5日)

立春は陰歴上のいろいろな行事の基点となっている。この日から数えて八十八日目を八十八夜 (5月1日頃) 二百十日目を二百十日 (9月1日頃) という。

みまた 広報

64.2
No. 8

発行 三股町
編集 総務課



冬来りなば 春遠からじ

今年(三〇年)ぶりの暖冬と言われている。しかし二月は一年中で最も寒い月、戸外の草木は霧島おろしのからつ風に強くゆれて寒さは愈々身にしみよるようになりす。しかしこよみの上では五日はもう

立春、山里のつばきの花にはめじろが無心にさえずり、庭先きに咲き乱れる梅の花は愈々春近しを思わせます。芳香清雅な梅の花にそえてかれんうぐいすの「ホーホーケキョケキョ」と春

を告げる美しい唄声にはかれしもがうっとりするものを感じます。立春の前日は節分、新しい季節春を迎えるにあたって今までの災(鬼)を追い払うという「鬼は外、福は内」の豆まきは子供達にとっては楽しい家庭行事の一つです。さて二月は逃げる月と言われるようにいつもより短かい月、この二月を有効に

梅の花に匂うかにはもう春のこどろがする

三股町民憲章

制定なる

我が町の

町是として

私達の町をもっと明るく、もっと豊かな住みよい町に築くために我が三股町の指針ともいふべき、町民憲章制定の件が去る第一回臨時議会に於いて可決、決定いたしました。

三股町町民憲章

わたくしどもは、歴史に輝き、山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、こゝに明るく豊かな明日の町づくりのために、この憲章を定めます。

- 一、常に新しい希望をもって、郷土の開発につとめましょう。
 - 一、教育を尊び、青少年を健やかに育てましょう。
 - 一、環境を清潔にし、健康の増進につとめましょう。
 - 一、生活を工夫し、よりよい風習をつくりましょう。
 - 一、力をあわせ、ねばり強く、住みよい町を築きましょう。
- (昭和三十九年一月四日制定)

国税だより

- 一、申告所得税の確定申告
と納税の期間は二月一六日から三月一五日まで。
- 二、贈与税の申告と納税は
二月末日まで。
- 三、青色申告の承認申請は
三月一五日まで。
- 四、税金還付の申告は早め
(二月中) に提出して下さい。

町民憲章が改定

現代の実情に則した内容に

昭和39年1月、町制施行15周年にちなみ制定された「町民憲章」がこのたび改定されました。

憲章は、豊かで住みよい町づくりを目指すことを目的に示されたいわば町の指針といべきもので、長い間町民のみならず親しまれてきました。

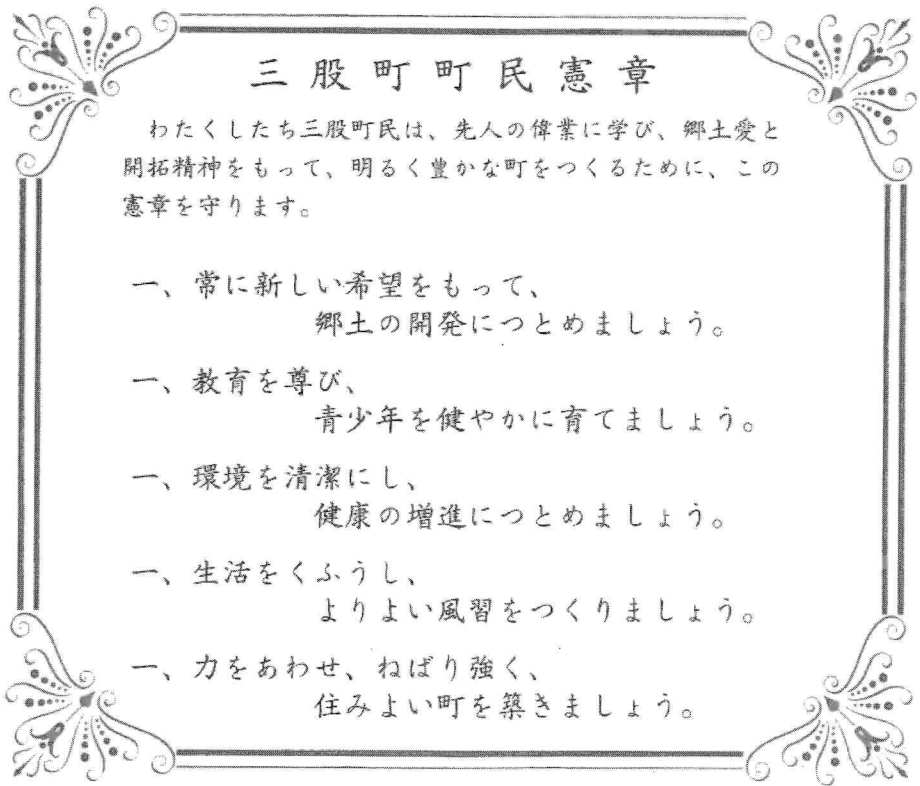
しかしながら、近年、憲章の文言、理念等が理解されにくいという声が聞かれ、それを反映して町制施行50周年の年に見直す運びとなったわけです。

町は、昨年の2月、教育関係者や学識経験者など10人で組織する町民憲章検討委員会に諮問。その後4回にわたる協議を経て、答申書が提出、それを受けて先月開かれた平成11年第2回定例町議会で承認されました。

特に大きく変わった点は、前文の語句「三股に生をうけ」は、特定の範囲の町民を指す表現であるということから削除され、「わたく子ども」は「わたくしたち」になど、現代社会で使用される表現にしたことです。

今月号では、改定された町民憲章を紹介します。

この憲章の精神を堅持して、輝く未来に向かって邁進いたしましょう。



三股町町民憲章

わたくしたち三股町民は、先人の偉業に学び、郷土愛と開拓精神をもって、明るく豊かな町をつくるために、この憲章を守ります。

- 一、常に新しい希望をもって、郷土の開発につとめましょう。
- 一、教育を尊び、青少年を健やかに育てましょう。
- 一、環境を清潔にし、健康の増進につとめましょう。
- 一、生活をくふうし、よりよい風習をつくりましょう。
- 一、力をあわせ、ねばり強く、住みよい町を築きましょう。

本年度の新規採用は6人 異動総数は71人

町は、4月1日、課長級11人、課長補佐級12人、係長級21人、一般職27人、新規採用6人を含む、計71人の定期異動を発表しました。今年度の特徴は、駅前周辺等整備開発推進室と総合文化施設建設推進室を廃止し、地域振興室を設け、1年後に控えた介護保険制度の準備のために職員を増員を行いました。

【新規採用職員】

- (税務課納税管理係) 中馬 やよい
- (福祉保健課児童福祉係) 長友 美樹
- (健康管理センター保健指導係) 谷口 さとみ
- (農林振興課農政係) 権北 香
- (学校教育課学校教育係) 黒木 芳一剛
- (町立病院事務係) 久保 千香子



辞令を受け取る新規採用職員

異動総数は71人

【課長級】

- 経務課長・栗田一彦(農林振興課長) 企画調整課長兼地域振興室長 兼開発公社事務局長・柳橋一彦
- (教育次長兼学校教育課長) 町民室長・谷口 保(水道局長) 健康管理センター事務局長・外園純一
- (審判課長) 都市計画課長・福屋守(耕地課課長補佐) 建設課長・村戸隆治(都市計画課長) 耕地課長・溝口良信(農業委員会事務局長補佐) 畜産課長・岡田和文
- (健康管理センター事務局長) 教育次長兼学校教育課長・白浜九雄
- (総務課長) 農林振興課長・木住貞生(企画調整課長) 水道局長・瀬尾泰(耕地課長)

【課長補佐級】

- 議会事務局局長補佐・西村高彦(議会議事局長) 町民生活課課長補佐(年金)・津曲香代子(福祉保健課課長補佐) 町民生活課課長補佐兼墓地公園係長・水山正廣(町民室室長補佐) 福祉保健課課長補

- 佐・大坪博文(生涯学習課課長補佐兼社会教育係長兼文化係長) 福祉保健課付社会福祉協議会 出向・大籠哲朗(町民生活課国民年金係) 福祉保健課付社会福祉協議会 出向・上野 浩(中野 イツ子) 町立病院補佐(健康管理センター事務局長補佐) 健康管理課長補佐(社会体育) 黒木博視

- (駅前開発推進室開発推進係長) 地域振興室施設係長・本村正博
- (総合文化施設建設推進室施設係) 兼生涯学習課施設係長・町民生活課国民年金係長・柳原良明(農林振興課農政係長) 税務課資産課係長・東 光吉(学校教育課学校教育係長) 税務課住民課係長・村戸明彦(税務課住民課係長) 福祉保健課児童福祉係長・田島マヨ子
- (総務課職員厚生係長) 福祉保健課社会福祉係長・佐藤英代子(総務課女性係長) 健康管理センター保健指導係 農林振興課農政係 農業委員会農地調整係長・山元通弥(税務課納税管理係) 議会事務局事務局係長兼監査書記・王原弘子(企画調整課調査統計係長) 学校教育課学校教育係長・南畑伸一郎(税務課資産課係長) 水道局工務係長・西畑博文

- (建設課土木係) 町立病院庶務係長・黒木孝幸(町立病院庶務係)
- (水道局土木係) 建設課土木係・園田幸一(水道局工務係) 建設課土木係・永吉由貴夫(都市計画課公園管理係) 建設課建築係・山田直夫(福祉保健課児童福祉係) 耕地課地籍係・下西志浩(農林振興課農林振興係) 農林振興課農林振興係・上水幸一郎(耕地課地籍係) 福祉保健課関係係・山之内祐一(学校教育課学校教育係) 生涯学習課公民館係・内田淳子(健康管理センター予防保健センター) 佐澤一成(町立病院院長兼係)

【係長級】

- 総務課職員厚生係長・酒井あきみ(財政課管財係長) 総務課人事係長・瀬尾晴弘(企画調整課企画調整係) 総務課女性係長・溝口幸子(税務課資産課係) 企画調整課企画調整係長・川野 浩(企画調整課商工観光係) 企画調整課調査統計係長・山口ヨシ子(健康管理センター予防係) 財政課管財係長・山元宏一(総務課人事係長) 地域振興室管財係長・内村隆一郎(総務課付高橋県業務研究一部) 地域振興室振興係長・福屋久和

【一般職】

- 総務課付高橋県業務研修・木下勝広(生涯学習課社会体育係) 総務課消防交通係・下沖祐一(町民生活課環境保全係) 企画調整課商工観光係・上村とら子(福祉保健課社会福祉係) 町民生活課環境保全係・今村 剛(税務課資産課係) 税務課資産課係・馬場雅希(総務課消防交通係) 税務課資産課係

【退職】

- 水徳美鈴(町立病院事務係) 福祉保健課高齢者福祉係・水間明美(福祉課建築係) 福祉保健課高齢者福祉係・加村弘子(生涯学習課公民館係) 福祉保健課高齢者福祉係・黒田真理(児童福祉係) 健康管理センター予防係・盛 ユミ子(町立病院看護科) 健康管理センター予防看護科 健康管理センター予防看護科 健康課付社会福祉協議会出向) 都市計画課公園管理係 梶山幸彦(総務課土木係) (建設課土木係) 建設課土木係・園田幸一(水道局工務係) 建設課土木係・永吉由貴夫(都市計画課公園管理係) 建設課建築係・山田直夫(福祉保健課児童福祉係) 耕地課地籍係・下西志浩(農林振興課農林振興係) 農林振興課農林振興係・上水幸一郎(耕地課地籍係) 福祉保健課関係係・山之内祐一(学校教育課学校教育係) 生涯学習課公民館係・内田淳子(健康管理センター予防保健センター) 佐澤一成(町立病院院長兼係)
- 平成11年3月31日付 土徳直生(建設課長)

